学校番号	218

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「高校美術 2」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分に似合う色って何色だろう？この質問に答えられる人は意外と少ないと思います。
みんな知りたいと思いませんか？美術Ⅱでは１年生で学んだ経験から、色も形も自分で考え自分で選択する、発展的な授業内容になります。難しいと思ったときは、身近なテーマに置き換えて考えてみましょう。とことん自分と向き合って楽しく試行錯誤してください。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	課題に興味を持ち、効果を考えながら意欲的かつ計画的に取り組んでいる。	感性を働かせて、美術の良さや、美しさを感じ取り、創造的に表現を工夫し、計画的に制作している。	創造的な美術表現を実現するために、必要な技術を身につけ、意図に応じて使い分けている。	美術を幅広く理解し、自分や他者の表現から、美しさを味わい、自分なりの意見を持つことができる。
評価方法	・授業態度 ・練習プリント ・作品の制作レポート	・授業態度 ・練習プリント ・作品 ・作品の制作レポート	・授業態度 ・作品	・授業態度 ・作品の制作レポート ・鑑賞レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	そっくり石をつくろう、繰り返される形	●オリエンテーション ・美術室の使い方や評価方法についての確認 ・授業ルールについての確認 ●そっくり石をつくろう ・張子 ●繰り返される形 ・立体デザイン ●鑑賞 ・教科書、映像作品等より	◎	◎	◎	○	a:題材の意図を理解し、意欲的に取り組んでいる。 a: パターンを理解し、半立体的な画面を制作することに興味を持っている。(繰り返される形) b: 自然の中にある色を観察し近い色での着彩を計画的に実現している。(そっくり石をつくろう) b:美しい立体模様で、オリジナリティのある画面の制作を実現している。(繰り返される形) c:張子の技法を理解し、耐久性のある作品制作ができる。(そっくり石をつくろう) c:正確に切り目を入れ、統一感のある画面を制作しようとしている。(繰り返される形) d: 自分や他者の作品を鑑賞することで、作品の意図を読み解き、味わうことができる。	・授業態度 ・作品 ・制作 レポート ・鑑賞 レポート
夏休み		高校美術展の鑑賞レポート				○	d: 他者の作品を鑑賞することで、作品の意図を読み解き、味わうおうとしている。	鑑賞 レポート
2学期	有名人を描こう	●有名人を描こう ・拡大模写 ・着彩による明暗分解 ・レタリング ●鑑賞 ・教科書、映像作品等より	◎	◎	◎	○	a:題材の意図を理解し、意欲的に取り組んでいる。 b: 色の濃度や色味を意識しながら、立体的な表現を実現しようとしている。 c: 水彩絵の具の特性を理解しながら美しく着色している。 d: 自分や他者の作品を鑑賞することで、作品の意図を読み解き、味わうおうとしている。	・授業態度 ・練習 プリント ・作品 ・制作 レポート ・鑑賞 レポート

冬休み		ブロック展の鑑賞レポート				○	d: 他者の作品を鑑賞することで、作品の意図を読み解き、味わうおうとしている。	鑑賞 レポート
3学期	水をイメージした切り絵	●水をイメージした切り絵 ・切り絵 ●鑑賞 ・教科書、映像作品等より	◎	◎	◎	○	a: 題材の意図を理解し、意欲的に取り組んでいる。 b:白と黒のコントラストを利用し、水のイメージを明確に表現しようとしている。 c: 線は流れるような曲線を保ち、途切れることなく綺麗な切り目が入っている。 d: 自分や他者の作品を鑑賞することで、作品の意図を読み解き、味わうおうとしている。	・授業態度 ・練習 プリント ・作品 ・制作 レポート ・鑑賞 レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。